



# 野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部

## 支部設立30周年記念号



日本野鳥の会 佐賀県支部 設立30周年記念行事を開催 (撮影：橋本泰博さん)

### 野鳥さが 253号 主な内容

- 2024年度（令和6年）支部総会報告 -----2ページ
- 支部 設立30周年記念行事開催報告 -----4ページ
- 支部設立30周年記念講演「いつでもどこでもバードウォッチング」 -----6ページ
- 事務局便り -----10ページ
- 各地の探鳥会報告 -----12ページ
- 皆さんからのおたより -----12ページ
- 皆さんからの野鳥&自然・生きもの情報 -----16ページ
- 近隣地区の観察会情報&有明海の満潮時刻 -----18ページ
- 探鳥会会場までの案内 -----19ページ
- 探鳥会などのお知らせ（2024年8月～10月） -----20ページ



## 支部設立30周年記念行事&支部総会報告 (事務局: 島田 洋)

日本野鳥の会佐賀県支部は本年度、設立30周年を迎え、6月23日に記念行事を開催しました。記念行事に先立ち2024年度の支部総会を開催しました。

### ●2024年度(令和6年)支部総会報告

【日時】2024年6月23日(日) 13時~14時

【会場】佐賀市天神の「ホテルグランデはがくれ」

【総会次第】 ハーモニーホール

- 支部長挨拶 佐賀県支部長・宮原明幸の開会の挨拶。
- 議長選任 総会の議長には服部二郎さんが選任された。



#### 第1号議案 事業実績および同決算について

##### ●事業実績

##### 1. 観察会の実施

- ① 2023年度は34回の観察会と1回の室内学習会が開催された。
- ② 非会員向けの観察会も10回行った。

##### 2. 公益財団法人・友好団体・行政との連携

- ① 九州沖縄ブロック大会は、コロナ流行のためここ数年は中止となった。
- ② 九州沖縄ブロック協議会は、2024年2月3日に開催され、宮原支部長が参加した。
- ③ 佐賀市からの委託調査や、各地の公民館や友好団体の行事に協力した。

##### 3. 野鳥・野生生物の保護、環境保護

- ① コアジサシの営巣地作りに取り組んだ。
- ② ブッポウソウの巣箱設置に取り組んだ。
- ③ コウノトリの営巣繁殖の見守りを行った。
- ④ ツルの分散計画に協力した。
- ⑤ 東与賀にビオトープを造成した。

##### 4. 啓発活動・・・愛鳥モデル校の活動を行った。

##### 5. 会員拡大の取り組み・・・非会員向け観察会等を行い、会員数の拡大に取り組んだ。

##### 6. 物資販売事業・・・図鑑やカレンダーなどの販売に取り組んだ。

##### 7. 広報普及活動

- ① 支部報を年6回発刊している。
- ② 傷害保険、損害賠償保険への加入。

##### 8. 調査活動の取り組み・・・ガンカモ調査、カラス調査、佐賀市野鳥調査。

##### ●2023年度決算報告

会計の高山さんから決算報告が行われた。

##### ●会計監査報告

会計を監査したところ、適切に管理されていることが確認された。

##### ●第1号議案は賛成多数で承認された。



## 第2号議案 規約改正

- 規約の一部の改正案
  - ① 佐賀県支部の所在地を島田宅から支部長の宮原明幸宅へ変更する。
  - ② 会費を自動引き落としにした場合には入会金を免除する。
  - ③ 専門委員会を削除する。
- 第2号議案は賛成多数で承認された。

## 第3号議案 2024年度 日本野鳥の会佐賀県支部役員名簿

- 支部役員の名簿については議案書を参照してください。
- 第3号議案は賛成多数で承認された。

## 第4号議案 2024年度事業計画 及び同予算

- 事業計画
  1. 観察会などの企画充実を図っていく。
  2. 調査研究活動の強化・・・ガンカモ調査、佐賀市野鳥調査。
  3. 財団や九州沖縄ブロック、他支部や他団体との連携と支援  
日本野鳥の会財団本部、他の支部、行政、様々な友好団体との連携を深める。
  4. 野鳥野生生物の保護、環境保護への取り組み
    - ① 干潟の保全に向けて学習会などを行う。
    - ② 「コアジサシ」「ブッポウソウ」「コウノトリ」の保護、見守りの取り組みを続ける。
    - ③ 東与賀のビオトープの活用に取り組む。
    - ④ 「カササギ」の保護については、県に働きかける。
    - ⑤ 密猟対策に努める。
    - ⑥ 愛鳥モデル校が、2校から3校に増えた。
    - ⑦ オスプレイに関しては、ラムサール登録地の上空は飛行しないよう申し入れる。
  5. 会員拡大の取り組み
  6. 広報活動・普及活動の充実
  7. 物資販売の受持
- 2024年度予算  
会計担当の高山さんから予算案の報告があった。
- 第4号議案は賛成多数で承認された。」

## 議長解任

- 議長の服部さんが議長を降任した

## 自由な形式での質疑応答

- ① 質問：パーティとかで佐賀県支部の活動費を集めてはいかがでしょう。  
回答（宮原支部長）：パーティは、考えていません。助成金や委託費を活用します。
- ② 質問：支部報の配信、郵送について  
回答（宮原支部長）：通信費の値上げなどもあり、ネット配信を増やしたい。

## まとめ

日本野鳥の会佐賀県支部は、自然保護、野鳥保護の活動を継続し、さらに充実させていく。





## ●日本野鳥の会佐賀県支部 設立 30 周年記念行事開催報告

日本野鳥の会佐賀県支部総会に引き続き、30周年記念行事を開催しました。

【記念行事開催日時】2024年（令和6年）6月23日（日）15時～

【会場】佐賀市天神の「ホテルグランデはがくれ」ハーモニーホールで開始。

【開会挨拶】佐賀県支部長 宮原明幸が開会の挨拶を行った。

【来賓紹介】野鳥保護など佐賀県支部の活動に協力をいただいた方々を来賓として招待した。



### 【コウノトリ保護活動紹介】

- ① 支部長の宮原が、スクリーンに画像を呈示して活動を紹介した。
- ② 2022年5月コウノトリが白石町福富に飛来した。九州では初の飛来。営巣して3羽が孵化した。ハシブトガラスに襲われ、全滅した。
- ③ 2023年3月4日に、再び飛来した。
- ④ 電柱に営巣したが、横の溝の浚渫工事があった。その後巣は放棄された。コウノトリは場所を変えて白石町新観音の電柱に営巣した。
- ⑤ 4羽が孵化したが2羽が死んだ。1羽は親鳥による間引きである。突き殺された。
- ⑥ 2羽が巣立ちした。
- ⑦ 2024年には、また白石町に営巣している。見守り活動を続けている。

### 【コアシサシ保護活動紹介】

- ① 副支部長の水田稔さんがスクリーンに画像を呈示しながら活動を紹介した。
- ② 佐賀市諸富町の諸富浄水場跡地にコアシサシの営巣地を設けて、佐賀県支部が管理している。
- ③ 2021年に初めて営巣しているのが確認された。
- ④ 2022年は、ネコの襲撃があったが、25羽が巣立った。
- ⑤ 2023年度は、61巣、116羽が巣立った。
- ⑥ 今年も見守りをしているが5月2日にカラスの大群に襲撃されてヒナも卵も全滅した。
- ⑦ 猟友会の協力なども得てカラス対策を行った。
- ⑧ この対策が奏功して、またコアシサシが営巣を再開してくれた。



コウノトリ、コアシサシ保護活動の紹介



講演会参加者

【安西英明さんの講演】

演題は「いつでもどこでもバードウォッチング」

講演内容は別記で紹介しています。

【記念写真撮影】講演会終了後、記念写真を撮影した。

【祝賀会】

- ① 午後5時から「グランデはがくれ」2階の「フラワーホール」で開催された。
- ② 祝賀会では、参加費として3000円をいただいた。
- ③ 会場は円形テーブルが8つ並べられ、それぞれ8人ほどがテーブルを囲む形となった。どのテーブルも話が弾み楽しい食事会となった。
- ④ 記念バッジ紹介、デザイン採用者の挨拶。
- ⑦ 会場入り口にはテーブルが置かれ、安西さんが持参の貴重な野鳥の羽などが展示されていた。
- ⑧ 展示コーナーに集まった参加者は安西さんから詳しい説明を聞くことができた
- ⑧ 余興として和太鼓の演奏があった。迫力ある演奏で、大いに盛り上がった。
- ⑩ 午後7時祝賀会は終了した。

【記念行事閉会】日本野鳥の会佐賀県支部創立30周年記念行事は盛会の内に終了となった。

なお、午前中に予定していたコアジサシ営巣地の観察会は雨のため中止となった。



祝賀会の様子

日本野鳥の会 佐賀県支部創立30周年記念事業 収支報告書

<b>収入</b>	30周年祝賀会参加会費	<b>174,000</b>
<b>支出</b>	コアジサシ記念バッジ製作費	351,670
	コアジサシ記念バッジデザイン謝礼	10,000
	日本野鳥の会安西氏講演会諸経費	87,015
	Gはがくれ会場費（祝賀会飲食費含む）	622,904
	来賓徽章・リボン	2,083
	印刷費（支部30年の歩み、講演会資料等）	50,840
	<b>支出計</b>	<b>1,124,512</b>
<b>収支</b>		<b>△ 950,512</b>



## ●佐賀県支部設立 30 周年記念講演

### 「いつでもどこでもバードウォッチング」

講演者：安西 英明 氏（公益財団法人 日本野鳥の会 参与）



### ●「巡る季節の確かさ、懐かしさ」

中西悟堂氏が言われたこの言葉は、これはありのままを知る＝ありのままを損なわないことであり、年を重ねるほど強く感じるものである。

また、この考えは後の「日本野鳥の会」の理念となっている。

### ●「SDG 's ネイチャーポジティブの問題点」

国際的流れの中で、生物界に対して「ネイチャーポジティブ（＝自然生態系の損失を食い止め、回復させていくことを意味する言葉）」という考え方が旋風しているが、多くの企業・人が生物多様性と中身を取り違えているのではないかと考えている。

人に対しては多様性を認めるべきであるが、生物においていびつな多様性を認めては、生態系を損なうものである。例えば特定の種の保護のみ優先して、他を無視するような取り組みがそれにあたる。中西悟堂もネイチャーを自然と訳してはいけないと言っている。

ネイチャーとは人と対峙したものを指す言葉であって、自然とは人も他も含めたものを指す言葉であり、ネイチャー＝自然は相反する訳である。

ネイチャーポジティブの考え方は良いが、自然生態系の損失を食い止め、回復させていくことを考えるなら生物多様性を今一度考える必要がる。

### ●「ペア・ファミリー何してる」より

春の繁殖期、一般的に鳥のひなは 10 日-2 週間ほどで立つようになる。このひなが、冬を越せる割合は平均 13-14%で、年で換算すると 1 年生き延びることができるかどうかである。生き延びることは当たり前ではない。ここに寿命という概念は存在しないということになる。1 年たつと繁殖をするようになるが、厳しい冬を乗り越えて越境することは、全て繁殖の為である。

オオタカ、ハヤブサの生存率 11-14%

多くの鳥種は、孵化をそろえるために産み終えた段階で抱卵をするが、オオタカ、ハヤブサのように狩りをする鳥種（含むカラス）は、産んだそばから抱卵をする（順次抱卵）。



これは、順次温めることにより孵化に差が生まれ、孵化した中で何羽かヒナが死んでしまっても、他のヒナが生き残る確率が高いためである。かわいそうだが末子は保険と言ってよい。また、猛禽類は、一夫一妻性でメスがオスより大きく、メスの捕獲する獲物の方がオスの捕獲した物よりも大きいことがよくある。抱卵中にオスが何らかの理由で死んでしまうと、メスは抱卵中の卵や、繁殖初期であれば子を食べてでも生き残ろうとする。ここに厳しい自然界のドラマを見ることができる。

多くの鳥が1年で繁殖期を迎えるが、カラス、カモメ、サギは翌年までは繁殖ができない種である。ヒナが孵化した直後に巣から出たり、自分で採餌することを早成性と言う。カルガモ、キジの仲間がそれにあたる。

### ●「地球の進化に生命を例えると」

地球誕生から46億年を1年に例えると、生命は、2-3月くらいに誕生している。多細胞生物は9-10月に誕生、11-12月、これは5億年前であるが、大気、オゾン層ができて、生物が陸上で生存できるようになった。「ナメクジウオ」のような脊索動物が誕生した。脊索動物から魚類に、魚類から爬虫類に、爬虫類は恐竜に進化した。これらの進化は12月中旬にあたるが、それから我々、哺乳類が12月の末に誕生した。また、同じ12月中旬にはシダ植物、種子植物が誕生する。これは小鳥の進化に大きく影響している。小鳥はなぜ小さいか・・・これは種子植物の枝先の葉や細い枝にいる虫をとるために、動きやすいように軽量化、小型化したものである。12月末のことになり、鳥の歴史は進化の中では非常に新しいと言える。

また、小鳥は英語で、Song Bird と言う。これは、見通しの悪い森の中でオスが鳴く（歌う）ためにこのように言われるが、春にオスが歌わないものもあり、ヒヨドリ科とカラス科がそうである。

### ●「エコライフの基礎」

太陽の周りを回る惑星である地球に海があるのはなぜか。水が液体として存在できるのは、太陽と地球の間に水星、金星があり太陽から程よい距離に地球があるからである。木星は巨大な惑星であり、隕石の衝突をたっぴり引き受けてくれる。つまり地球を守ってくれる。また、惑星の周りを回るものを衛星というが、地球のそれが月である。ジャイアントインパクト説で月は誕生したと言われている。月の動きで潮の満ち引きがある。

干潟では、酸素が海に供給される。干潟の表面積が広いと酸素がたくさん供給され、餌が豊富にできる。これは、先程の進化で言うと、海の生物が豊かになり、次に浅瀬や干潟の生物が豊かになることに繋がる。

哺乳類が繁栄するのは、種子植物の誕生よりずっと後になる。また、他の生物と違い、哺乳類や鳥類は恒温動物である。鳥は40℃の体温がある。この地球には、900万種の生物種があると言われているが、日本での昆虫は3万種程である。

我々は生物多様性の「せ」も分かっていないことを理解しないといけないのである。生物150万種のうち、昆虫が100万種、その中の30万種が熱帯地域に属すると言われ

ている。

### ●「目>科>属から見る生物」

恐竜以降、鳥ができてから昆虫がかなり変化（進化）してきた。鳥対策として、さなぎから成虫になるなど鳥が見て判断しにくい、食して消化に悪い形状に変化している。蝶と、同じ形状の蛾を合わせると4000種、このうち蝶は280種である。蝶と蛾の進化で言えば、蛾が先である。昆虫の多くは夜に孵化するが、蝶やテントウムシは昼に孵化する。これは、鳥にとって美味しくない、時には有毒でもある。警戒色の体表などで鳥に対しての対策をしている。

### ●サル目ヒト科ホモ属

サル目ヒト科の特徴は、眼が前に付く、手が開く、5本指の中で親指が違う動きをする。ホモ・サピエンスとネアンデルタールは、遺伝子的にほとんど同じなので、別種にしなくてよいという説もでてきている。チンパンジーとオラウータンはヒト科であるが、オラウータンはスマトラとボルネオの2グループに分かれており、オラウータンは種を分けるべきではないかという話もある。

### ●種（しゅ）・・種（たね）

実はマガモとアヒルは同じ種であるため、交雑種が起こっても不思議なことではない。また、合鴨もアヒルであり、カモである。呼び方が違うだけで遺伝子的には同じものである。鳥の進化の中では、ホオジロ科が一番新しい種である。スズメ、カワラヒワ、ホオジロは嘴が、種を食べられるように大きく短くできている。これは、種子植物を食べてきた種であるということである。

種により、雛の巣立ちの様子が違い、メジロ、サンコウチョウは、まず巣から出て枝を歩き、それから2-3日して飛ぶ練習をする。通常は、巣の中で飛ぶ練習をする。ヒヨドリは、10日でヒナが巣立つ。通常の2週間より短い。

### ●食物連鎖、共存と循環

地球の命の原則は、他の命の食物となることである。例えば、アメリカシロヒトリは4287個の卵から、春に幼虫、さなぎ、成虫になるのは、0.02%の7匹である。

### ● 「最後に」

「光の粒は空間と叢林と溪谷を彩り…」中西悟堂は、野鳥をとおして命の躍動、美しさを育てる、ありのままを、自然の価値を知る人を育てることが大切であると言っている。「地球の精神的な豊かさ」を説いたが、今の時代になって、この「地球の精神的な豊かさ」大切になってきている。中西悟堂の説いたことにやっと時代が追い付いてきている。

※安西英明さん講演会の内容は蒲原留美さんにまとめていただきました。

※支部総会、30周年記念行事の写真提供はすべて橋本泰博さんです。





●佐賀県支部設立 30 周年記行事 写真集 (撮影：橋本 泰博さん)

【支部総会】



総会議長 服部二郎さん



会計報告 高山昭彦さん



【祝賀会】



バッジ決定報告  
青柳良子さん



バッジデザイン採用者  
八木ひとみさんへ謝礼



「コアジサシ親子」への  
想い 八木ひとみさん



乾杯の音頭 青柳隆さん



「和太鼓葉隠」 八木一彦さん他3名



### (1) ようこそ 佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報

支部報 252 号でお知らせした以降の入会者情報をお知らせいたします。

7 月入会者 3 名 (いずれも家族会員)

佐賀県支部の会員は現在 **281 名** です。

新入会員の皆様！ 積極的に参加してください。 楽しい仲間が待っていますよ！

また、入会はしたけれどもまだ一度も参加されてない方もいらっしゃいます。

是非いらしてください。 お待ちしています！

『観察会に参加できないから・・・』とか『高齢だから・・・』との理由で退会される方もおられます。

私たち野鳥の会は鳥や自然を愛でる趣味の会ですが、同時に野鳥を大切にする活動を通して  
どんどん失われていく自然を守る自然保護団体でもあります。

私たち一人一人の数が！

みんなの出し合う会費が！

自然を守る『力』になります！

「会員」でいることが「自然保護に協力していること」になるのです。

お願いします。 経済的にご負担でなければ会に籍を置き続け、今残る自然を次の世代へ引き  
継ぐ『力』を貸してください!!

みなさまの周りに花や昆虫など自然の生き物に興味・関心をお持ちの方はいらっしゃい  
ませんか？ 是非お誘いください。 野鳥の会は 「いつでも入会 OK」です。

#### 日本野鳥の会とは

「野鳥も人も地球のなかま」を合言葉に、野鳥や自然の素晴らしさを伝えながら、自然と  
人間とが共存する豊かな社会の実現を目指し、活動を続けている自然保護団体です。

### (2) 支部報のメール配信を利用しよう

支部報「野鳥さが」は印刷の支部報とメール配信で皆さんにお届けしています。

メール配信はカラーの支部報で、皆さんからは「見やすい」「写真がきれい」と好評です。  
10 月からは郵便料金が値上げされることもあり、支部の運営経費節減のためにもメール  
配信の利用をお勧めしています。

【メール配信の利用登録】メール配信希望される方は「メール配信希望」のタイトルで  
Eメールを送ってください。送信先のメールアドレス「f\_baba841@ybb.ne.jp」です。

(編集係・馬場順一宛) 氏名、住所(市町村名までで OK です)を明記してください。  
メールが届きましたら、こちらから最新の支部報を添付して返信します。

【支部報の閲覧方法】メールを開くと「野鳥さが〇〇〇号. pdf」と表記の添付ファイルが  
あるので、パソコン内(ipad などのタブレット端末やスマートフォンでも OK)に保存



します。保存した PDF ファイルを開くとみることができます。なお PDF ファイルを見るには「PDF 閲覧ソフト」が必要です。市販のパソコンには最初から入っていると思いますが、入っていない場合は用意する必要があります。インターネットで「PDF 表示ソフト」で検索すると数種類のソフトが見つかります。「Adobe Acrobat Reader」が一番有名で、使いやすいと思います。分からないという方は個別に対応しますので、編集係・馬場まで気軽にメールで連絡をしてください。

## 日本クロツラヘラサギネットワーク報告会のお知らせ

日本クロツラヘラサギネットワークでは、毎年各地でのクロツラヘラサギの生息状況や保全活動を含めたクロツラヘラサギ報告会を実施しています。

今年は、佐賀県鹿島市の会場とリモートの併用で報告会を実施いたします。

会員の皆様もぜひご参加ください。

**【日 時】** 2024 年 9 月 1 日（日） 午後 1 時～4 時

※なお、報告会に先立ち、午前 10 時 30 分から映画「守護黒面琵鷺」（台湾でのクロツラヘラサギ保護のドキュメンタリ映画、84 分）を上映いたします。

なお、オンライン配信はありません。 会場の上映です。

**【場 所】** 鹿島市干潟交流館（佐賀県鹿島市音成甲 4427-5 道の駅鹿島内）

および「Zoom」によるオンライン開催。

**【参加費】** 無料

（ただし「クロツラヘラサギ調査報告書 2023-2024」希望の場合は資料代 1,000 円）

**【定 員】** 現地参加 30 名 オンラインは基本人数無制限

**【参加方法】** 参加を希望される方は、事務局（onoda@kusunokishizenkan.com）へメールにて参加申し込みをお願いいたします。 Zoom 参加希望の場合、参加 URL は、後日メールでお知らせいたします。

**【参加締切】** 8 月 30 日（金）

※ただし「Zoom」参加の方で、当日までに調査報告書を入手したい方は、1 週間以上の余裕をもってお申し込みください。

**【内 容】**

- ・開会（5 分）
- ・話題提供（30 分程度）
- ・第 25 回台北国際バードウォッチング博覧会報告（2023.10）及び韓国クロツラヘラサギ繁殖地（2024.5）視察訪問記
- ・クロツラヘラサギ、IUCN, Red List のダウンリストについて
- ・各地報告（各 10 分程度）

山口県西部、津屋崎、泉川/加布里湾、福岡県東部地区、曾根干潟周辺、佐賀県鹿島市、熊本港周辺、八代海、万の瀬川河口、沖縄島など

（情報提供：中村 さやかさん）





## 各地の探鳥会報告



### ■脊振山探鳥会報告（神崎市）

【日 時】 2024年5月26日

【参加者】会員22名（案内役：宮原 明幸）

【観察された野鳥】トビ、キジバト、アオバト、ホトトギス、コゲラ、アオゲラ、リュウキュウサンショウクイ、ヒヨドリ、ミソサザイ、ウグイス、ヤブサメ、オオルリ、キビタキ、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、カワラヒワ、カケス、ハシブトガラス、ソウシチョウ（20種）

【案内役より】

脊振山の探鳥会、2年連続で雨に祟られ3年ぶりの開催です♪

集合時間には、すっきり晴れ渡り爽やかな風もありましたが、山頂付近くでは雲が出て少し肌寒くなりました。鳥の方は、ソウシチョウ益々ご健勝！其処から此処から囀りが聞こえます。木々の茂った葉に遮られ、なかなか姿は見せませんが、オオルリ、キビタキ、ホトトギスなどなど、初夏に歌う鳥達を楽しむことが出来ました。♪

### ■アザメの瀬探鳥会報告（唐津市）

【日 時】 2024年6月2日

【参加者】会員9名（案内役：川原 直嗣）

【観察された野鳥】ツバメ、ホオジロ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ウグイス、ホトトギス、（番外）コブハクチョウ



## 皆さんからのおたより



橋間 みち子さん（小城市）

日本野鳥の会佐賀県支部創立30周年祝賀会。あと30年がんばりましょと宮原支部長がこぶしをあげました。えーあと30年？野鳥の会終わる？日本の国も？地球も？とおどろきです。あと30年後 私は105歳です。支部長の言う「あと、30年」うん？？隣の若い男性の話。普段、話す時相手がどんな反応するか見ようです。野鳥の話などすると変人に思われるの？しんじょうです。大丈夫。話題豊富な面白いおじさんにならねよう。楽しかった。野鳥の会員、観察力があるのと服化装念入にしました。私も近くの人を観察してしまいました。帰りに隣の人に手ぶつたらもう過去の人になっていました。30年後どうなっています。



● 「山のくまさん 野鳥識別講座『ダイシャクシギとホウロクシギ』」

・・・加藤 芳隆さん（上峰町）

もうすぐ秋の渡りが始まります。

支部の皆さんにもっと大授搦（東よか干潟）へ足を運んで頂きたいので、大型で分かりやすい「**ダイシャクシギとホウロクシギ**」の違いをお伝えします。

じっとしていると分かりづらいけど、お腹からお尻にかけての羽の色が違います。

白く見える方がダイシャクシギ、褐色がホウロクシギですが、野外では光の具合で分かりにくいこともあります。

飛ぶと腰が白い（ダイシャクシギ）のと白くない（ホウロクシギ）ので識別しやすいです。羽裏が見えてもわかりやすいです。ダイシャクシギの翼の裏側は白く、ホウロクシギの翼の裏側は黒っぽい紋様があります。

ダイシャクシギは“白”ホウロクシギは“茶”が決め手と覚えておきましょう！

（加藤さんの解説文を元に編集“B”がまとめてみました。違ったらすみません！！）



←どっちがどっちでしょう？  
当ててください

● 「ツバメチドリ in 佐賀空港」・・・山田 茂さん（大川市）

6/26（水） 佐賀空港の南側の畑地帯にツバメチドリ 1羽が飛来してました。

一昨年、昨年と6/18の同時期に来てましたので、以降、今年も来てないかと、度々見に行くも、見つけることが出来なかったのですが、やっと見つけました。

いつも複数で来てましたが、今年は1羽だけで、雨の中、ずぶ濡れになりながら畑の中で、仲間もいなくて、寂しそうでした。又、オスプレイ配備の工事中で、辺りはユンボやショベルカー等の重機があり、飛来地が全く様変わりしているの、戸惑っているようでした。でも、1羽でも良くぞ来てくれた！という感じです。





一昨年は約 30 羽以上のツバメチドリが 9 月末までいて、毎日のように佐賀空港に足を運んでいました。もうそんな日が来なくなるかと思うと虚しいですね。



## ●「カメラでウオッチング from “OUTI” Part11」

・・・小松 常光さん（唐津市相知町）

【トキソウ】高い山の湿原ではトキソウが盛り。鳥のトキの羽色に似ていてるんでしょうね、色、形の可愛い花です。群落もあちこちに有りました。木道から少し奥に咲いてて、カメラから遠いところが惜しいところです。（5/30）

【カワセミ】高いお山の湿原を囲んである防護フェンスの向こうにカワセミを発見。ちょっと来てパッと消えました。（6/2）

【オオバノウマノスズクサ】同じ湿原のそばに変わった形と名前の花が咲いていました。つる性。珍しいので撮ってきました。



トキソウ



カワセミ



オオバウマノスズクサ

【居なかった！！】アオバズクを見に行ったら居なかった。南から来て「定宿・常宿」にしていたエノキと思われる老木は更に老化して、幹の一つは朽ち倒れんばかりで下から支えられ立ち入り禁止のロープまで。もう一つの太い幹にもツタが下から上までビッシリと巻き付いて幹を覆い隠していた。（6/29）

【以前のアオバズク】昨年まではこんなアオバズクが大きい目玉で居たのに。来なかったのか巣立ったのかは？？？（我が家の近くではアカショウビンが6月初めころから綺麗な鳴き声を響かせているから、いいか！！キョロロロー、キョロロローと！！）

【カゲロウの仲間？】網戸にカゲロウの仲間らしき綺麗な羽虫が留まった。スマホの上でモデルを頼んだ。体長 15 ミリ、尾っぽが 30 ミリ位、触覚も。





アオバズク居なかった！！



以前いたアオバズク



カゲロウの仲間

【大賀ハス】佐賀県多久市の多久聖廟そばにある聖光寺の大賀ハスが復活中だった。3年位前洪水で壊滅状態に。守る会の人たちが嫁入りさせていた県内の大町町や吉野ヶ里町から孫(種)を分けてもらい、復活作戦を。お陰で昨年とは見違える状態までに！！ありがとうございます。(7/7)

【ベニイトトンボ??】シオカラトンボやヤンマみたいな柄のトンボなど、何種類か飛び交うようになっていた。産卵もしていたので来年はもっと多くなるかも！！

【ネジバナ】家の裏手でネジバナを見つけたら小さい蝶が飛んできた。ラッキー！！ヒメウラナミジャノメのようだ！！(7/13)

【ツマグロヒョウモン】レモン畑でツマグロヒョウモンが舞っていた。2番咲きの花の蜜に来たようだ。

【造形家??】軽トラ運転席背後ガラス窓の外側で黄色っぽいクモが造形していた。巣の中心部ネットの大きさは2センチ。(7/18)



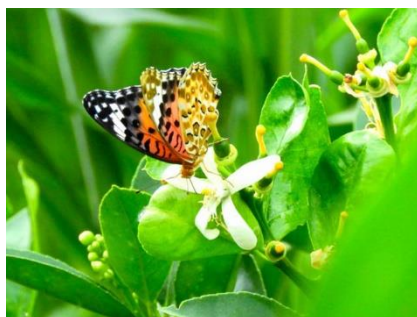
大賀ハス



ベニイトトンボ



ネジバナとヒメウラナミジャノメ??



レモンの花とツマグロヒョウモン



造形家??



## 皆さんからの野鳥&自然・生きもの情報



### ■加藤 芳隆さん（上峰町）

#### ★今日の大授搦（東よか干潟）

【6月22日】ダイゼン41羽、オバシギ6羽、キアシシギ1羽、チュウシャクシギ44羽、ダイシャクシギ2羽、ホウロクシギ1羽、オオソリハシシギ3羽、シロチドリ2羽、ズグロカモメ2羽、ホシハジロ2羽、アオサギ、ダイサギ、クロツラヘラサギ3羽（発信機付64K含む）

【6月23日】6/22確認出来たシギ・チドリ8種に加え、アオアシシギ2羽、ツクシガモ2羽、クロツラヘラサギ27羽（34K含む）

【7月7日】シロチドリ1羽、メダイチドリ20羽、オオメダイチドリ1羽、ダイゼン77羽、ハマシギ27羽、オバシギ、アオアシシギ4羽、ソリハシシギ2羽、キアシシギ1羽、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ2羽、ホウロクシギ4羽、チュウシャクシギ41羽、クロツラヘラサギ23羽、コアジサシ4羽、ツクシガモ2羽、ハクセキレイ3羽 ※少しずつシギチも増えてきてます。



オオソリハシシギ



クロツラヘラサギ



ツクシガモ



オオメダイチドリ



ソリハシシギ（枯木上の中央）

#### ★その他の地区

##### 白石

【6月28日、29日】コウノトリ ※28日に巣立った雛（J0774）メス。  
次の日には蛙を捕まえて食べてました。







巣立ったヒナ♀ (カレンと命名)

福富

【7月4日】タマシギ ※親子確認。

【7月13日】コアジサシ



タマシギ親子



コアジサシ親子

■ハ木 ひとみさん (佐賀市)

6月9日、10日 【武雄市宇宙科学館周辺】カイツブリの親子、モズ、ヤマガラ、コゲラの幼鳥に会えました。 親鳥さん、お疲れ様でした。



カイツブリ親子・給餌中



コゲラ幼鳥



モズ幼鳥



ヤマガラ幼鳥





## ● 近隣地区の探鳥会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報  
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

### ■ 日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

- ・福岡市西区今津：8/4 (日) 9/1 (日)
- ・春日市春日公園：8/6 (火) 9/3 (火)
- ・福岡市大濠公園：8/10 (土) 9/14 (土)
- ・福岡市和白海岸：8/11 (日) 9/8 (日)
- ・筑紫野市天拝山：8/18 (日) 9/15 (日)
- ・福津市久末ダム：8/25 (日) 9/22 (日)

### ■ 日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員&高校生 100 円 一般 200 円 中学生以下無料)

- ・小郡市花立山：9/1 (日)
- ・みやま市濃施山公園：9/8 (日)
- ・久留米市高良山：9/22 (日) ※8月の探鳥会はお休みです。

※探鳥会の日程、場所に変更されることもあります。

上記以外にも、月例探鳥会(福岡支部)や企画探鳥会(筑後支部)が実施されています。

お問い合わせは各支部のHPへ 福岡支部 <http://hachikuma3.blog.fc2.com/>

筑後支部 <https://wbsj-chikugo.org/>



## 有明海の満潮時刻 (六角川観測塔)



※潮高 5m以上、午前 7 時頃から 12 時頃に満潮を迎える日時を掲載しています。

	時刻	潮高 (m)		時刻	潮高 (m)
8月3日	8:12	5.0	9月1日	8:06	5.0
8月4日	8:57	5.2	9月2日	8:44	5.3
8月5日	9:36	5.3	9月3日	9:18	5.5
8月6日	10:09	5.3	9月4日	9:49	5.5
8月7日	10:39	5.3	9月5日	10:18	5.5
8月8日	11:07	5.2	9月6日	10:46	5.4
8月9日	11:34	5.1	9月7日	11:12	5.3
8月18日	7:45	5.1	9月8日	11:39	5.0
8月19日	8:38	5.5	9月16日	7:33	5.2
8月20日	9:27	5.8	9月17日	8:24	2.7
8月21日	10:12	6.0	9月18日	9:11	6.0
8月22日	10:55	6.0	9月19日	9:56	6.1
8月23日	11:35	5.8	9月20日	10:39	6.1
8月24日	12:14	5.5	9月21日	11:18	5.9
			9月22日	11:57	5.5

### 満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう！

#### ■ 東よか海岸 (大授搦)

潮高 5.0m 満潮の2時間前くらいがベスト！

#### ■ 鹿島新籠海岸他

潮高 4.0m 満潮の1時間前後がベスト！

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。

ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。





## 探鳥会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

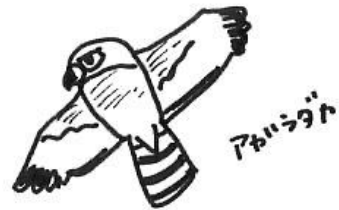
①8/25 ④9/23 ⑤10/6 東よか干潟



②9月7日 佐賀市・ツバメのねぐら



③9月21日 鏡山(唐津市)



サガテレビのニュース「佐賀人十色」で宮原明幸支部長が紹介されました。(7/8 放送) 支部運営に精力的に活動されている様子を見ることができます。若き日の宮原支部長の写真は必見です。(^^♪ 下記のサガテレビ「You Tube」チャンネルをご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=C-stOR3bVUyI>

### ～野鳥さが原稿募集中～

- ① 詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。
- ② 投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)  
〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯：090-5084-2649  
(Eメール) f\_baba841@ybb.ne.jp





## 探鳥会などのご案内 (2024年8月～10月)

### ①8月25日(日)室内学習会

[集合] 10:00 佐賀市東与賀町の東よか干潟  
ビジターセンター「ひがさす」研修室  
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085  
[内容] \*会員学習会\* 野鳥に関する知識を  
深めます。参加費無料。

### ③9月21日(土)

#### 鏡山・ハチクマの渡り 観察会(唐津市)

[集合] 8:00 唐津市鏡の鏡山 駐車場  
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085  
[見どころ] 越冬地への渡りのため、鏡山上空を通過  
する「ハチクマ」を観察します。

観察会のお問い合わせは、佐賀県支部 web サイト  
(ホームページ)の「お問い合わせ」よりメール、又は  
宮原支部長の携帯電話(090-2507-7085)へ連絡  
をして下さい。

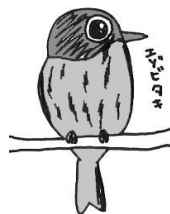
### ②9月7日(土)

#### ツバメのねぐら 観察会(佐賀市)

[集合] 17:30 佐賀市川副町の  
大詫間公民館 駐車場  
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085  
[見どころ] 繁殖を終え渡り前に河川敷の葦原で、  
ねぐら入りする「ツバメ」数千羽を観察します。  
夏の夕暮れの空を乱れ飛ぶ「ツバメ」の群れは  
圧巻です。

### ④9月23日(月・祝)⑤10月6日(日) 東よか干潟(大授搦)探鳥会(佐賀市)

[集合] (9/23)11:00 (10/6)9:00  
東よか干潟展望台 (佐賀市東与賀町田中)  
[担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市)080-1707-9225  
加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560  
[見どころ] 繁殖を終え、渡りはじめた「シギ・チ」を  
観察します。



### 共通事項

- ① 参加費(資料代、保険代)佐賀県支部会員 100円 非会員は 300円
- ② 雨天中止。(前夜 18:55 のNHK 天気予報で降水確率 50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～  
公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル  
電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636

日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸 (☎ 090-2507-7085)  
事務局：島田 洋 (☎ 090-2393-1286)  
支部 web サイト <https://www.yacho-saga.org/>